

第75回 大阪府選手権大会 決勝リーグ

男子	長瀬	中野	長栄	盾津	勝敗	順位
長瀬		65 ○ 49	45 ● 52	49 ● 66	1勝2敗	3位
		16 - 12	15 - 17	13 - 15		
		9 - 12	6 - 10	18 - 14		
		16 - 15	10 - 11	6 - 15		
		24 - 10	14 - 14	12 - 22		
中野	49 ● 65		51 ● 56	63 ● 66	0勝3敗	4位
	12 - 16		19 - 9	15 - 10		
	12 - 9		9 - 19	11 - 21		
	15 - 16		15 - 14	15 - 16		
	10 - 24		8 - 14	22 - 19		
長栄	52 ○ 45	56 ○ 51		59 ○ 51	3勝0敗	1位
	17 - 15	9 - 19		14 - 6		
	10 - 6	19 - 9		11 - 11		
	11 - 10	14 - 15		16 - 14		
	14 - 14	14 - 8		18 - 20		
盾津	66 ○ 49	66 ○ 63	51 ● 59		2勝1敗	2位
	15 - 13	10 - 15	6 - 14			
	14 - 18	21 - 11	11 - 11			
	15 - 6	16 - 15	14 - 16			
	22 - 12	19 - 22	20 - 18			

近畿大会出場

近畿大会出場

近畿大会出場

近畿大会出場

女子	薫英女学院	大領	樟蔭	高南	勝敗	順位
薫英女学院		60 ○ 39	57 ○ 39	27 ● 46	2勝1敗	2位
		18 - 8	19 - 4	4 - 17		
		11 - 10	12 - 14	4 - 8		
		16 - 13	12 - 6	7 - 15		
		15 - 8	14 - 15	12 - 6		
大領	39 ● 60		51 ● 70	34 ● 63	0勝3敗	4位
	8 - 18		15 - 16	10 - 21		
	10 - 11		6 - 19	0 - 20		
	13 - 16		16 - 16	14 - 13		
	8 - 15		14 - 19	10 - 9		
樟蔭	39 ● 57	70 ○ 51		40 ● 52	1勝2敗	3位
	4 - 19	16 - 15		9 - 9		
	14 - 12	19 - 6		12 - 17		
	6 - 12	16 - 16		13 - 14		
	15 - 14	19 - 14		6 - 12		
高南	46 ○ 27	63 ○ 34	52 ○ 40		3勝0敗	1位
	17 - 4	21 - 10	9 - 9			
	8 - 4	20 - 0	17 - 12			
	15 - 7	13 - 14	14 - 13			
	6 - 12	9 - 10	12 - 6			

近畿大会出場

男子決勝リーグ戦評①

令和3年7月28日	A②	11:45	東大阪市立長瀬中学校	16	9	16	24		65
四条畷サンアリーナ			大阪市立中野中学校	12	12	15	10		49

白長瀬④⑤⑥⑦⑧緑中野④⑤⑥⑦⑧でスタート、開始早々から長瀬④の1on1や3p、⑤の連続スティールから速攻で長瀬ペースとなる。中野は⑦のドライブや⑥のブレイクで食らいつき、シュートがあまり入らない時間帯がありながらも終盤の⑤の連続3pで徐々に点差をつめる。

2Q長瀬は④の3pやブレイクが決まり点差を放しにかかるが、中野はパスやカッティングを多用したチームバスケットで対抗する、中盤から中野はオールコートマンツーマンに切りかえ、長瀬のミスが増えてくる中で中野④の3pが決まり、中野が逆転し、長瀬はたまたまタイムアウトを取る、再び長瀬④のランニングプレー、中野⑦の力強い1on1からバスケットカウントを奪う。2Q終了間際長瀬④のランニングプレーが決まり25-24長瀬リードで前半が終了した。

後半、長瀬④⑤⑥⑦⑧ 中野④⑤⑥⑦⑧、長瀬は④、中野は⑦④のドライブを起点とする中、長瀬④のシュートの好調が続き突き放しにかかるが中野⑤の3pやジャンプシュートで食らいつき、3Qはほぼ互角の戦いとなった。

長瀬1点リードで始まった第4Q、長瀬は④⑥を中心にDFから全員が走り点差が3分で9点にひろがる、中野はタイムアウト後再びDFのテンションを上げ⑥の連続得点で追撃を図るが、長瀬⑤の読みの良いDFから立て続けに速攻を繰り出し点差を放す、中盤を過ぎ、コートに戻った中野⑦のパワフルなプレーでチームを引っ張ったが攻守に渡ってアグレッシブな姿勢を見せ続けた長瀬が勝利を収めた。

記入者：池嶋、米山

令和3年7月28日	B②	11:45	東大阪市立長栄中学校	14	11	16	18		59
四条畷サンアリーナ			東大阪市立盾津中学校	6	11	14	20		51

1Qお互いの1on1中心に攻撃を展開、盾津⑤インサイドへのドライブで先取点を奪う、盾津は⑤⑥⑦の1on1で得点を狙うが長栄の守りに阻まれ得点ができない、一方長栄は、⑤の1on1を中心に④⑥⑦のアウトサイドシュートやドライブインで得点を重ねる。両者ショットファールをさそう攻撃も見られるがフリースローが入らず状態は均衡したまま長栄14、盾津6で1Qを終える。2Q、盾津、立ち上がりは早い展開に持ち込み長栄に揺さぶりをかけるもシュートが決まらず長栄はその間⑤のランニングプレイバスケットカウントより、⑦ジャンプシュートやドライブイン3pを決め⑤のリバウンドからのシュートで盾津を引き離す、盾津の早い展開もスローダウンし互いにセットOFからの1on1中心の攻撃となる、両者ともシュートが入らないが、終始、長栄がリバウンド、ルーズボールでリズムをつくっていく。2Q終了際に盾津⑨が3pを沈め長栄25-盾津17で2Qは同点で終える。3Q両チームともスターティングメンバーは変わらず立ち上がり、早いパス展開から盾津⑨の3pを皮ぎりに盾津が動き出す⑦の速攻からのアタックで連続得点する、長栄は自分たちのペースに持ち込みたいが上手くOFがまわらず、その後も盾津は⑧のパスカットから⑨の速攻で得点や⑥のミドルシュートと得点を重ねるが長栄は④のドライブインを起点に④⑦のアタックで攻撃にリズムが出る、たまたま盾津はタイムアウト、盾津はリズムを止めらるも⑤がインサイドで長栄からシュートファールを誘いフリースローをさそい1本決め3Qを長栄41-盾津31で終える。4Q盾津は攻撃的にDFをしかけ、長栄のミス誘い⑤⑥⑦を中心に自分たちのバスケットに持ち込む、長栄も要所で④⑤⑦でアタックをしかけ我慢の展開、中盤長栄のDFにスイッチが入り盾津のリズムがくずれはじめる。盾津はタイムアウトを取り巻き返しをはかる、その後⑦の3pやDFからのパスカット速攻など⑤⑥⑦を中心に攻撃をしかけるが長栄⑤⑥のドライブで返され長栄59-盾津51で試合終了

記入者：岩木、北村

令和3年7月29日	A2	11:45	東大阪市立長瀬	13	18	6	12		49
東大阪アリーナ			東大阪市立盾津	15	14	15	22		66

白のユニフォーム長瀬④⑤⑥⑦⑧緑のユニフォーム盾津⑤⑥⑦⑧⑨でゲームがスタート。長瀬は④のドライブから連続で得点を重ねる一方盾津は⑤⑦のゴール下での力強いプレーで得点を重ね13-15盾津2点リードで1Qが終了。2Q、長瀬は④の1on1や⑥でミドルシュートで得点する。盾津は⑦のドライブや⑥のポストプレーで得点するも長瀬のDFに苦戦し31-29長瀬2点リードで前半が終了。後半も両チーム同じメンバーでスタート長瀬は④の1on1で得点しようとするが、盾津⑥の体を張ったDFで得点を許さない、盾津は⑦のミドルシュート⑤のゴール下、⑥の速攻からの得点で37-44と7点リードを広げ最終Qをむかえる。4Qになり、盾津はポストを中心にOFをつくり合わせのプレーが決まり出ず、長瀬はオールコートDFでプレッシャーをかけるがあわてずにゲームコントロールした盾津が49-66で勝利した。

記入者：藤原、武富

男子決勝リーグ戦評②

令和3年7月29日	B②	11:45	大阪市立中野中学校	19	9	15	8		51
東大阪アリーナ			東大阪市立長栄中学校	9	19	14	14		56

中野④⑤⑥⑦⑧長栄④⑤⑥⑦⑩でスタート。序盤、中野は激しいDFから速攻を狙ってリズムを作る。⑤の3p、⑦のOFリバウンドを中心に全員がバランス良く得点を重ねる。一方、長栄は⑤⑦を中心に攻撃を組み立てるが、ペースをつかみきれない。19-9、中野リードで1Q終了。2Q、出だしから長栄は⑤⑦がアウトサイドからの1on1で得点を重ね、じわじわ差を縮めていく。対する中野は、果敢に攻め続けるもリングに嫌われ、苦しい時間帯が続く。長栄⑤がこのピリオド10点を挙げる活躍を見せ、28-28同点とし、前半終了。後半開始早々、長栄は⑦が3連続得点を挙げ、さらに④が攻守にわたってチームを引っ張り、点差を広げにかかる。一方の中野も⑥が3pやドライブでシュートを沈め、食らいつく。さらに終盤中野は⑦の連続得点、⑤のテイクチャージで勢いを取り戻す。43-42中野1点リードで最終クォーターへ。4Q、どちらも譲らぬ一進一退の攻防が続く中、流れをつかんだのは長栄。④⑥⑦が3連続で3pを沈め、差をつける。対する中野も⑦の力強いドライブなどで追いつがるもあと一步及ばず。51-56、長栄が決勝リーグ2勝目をおさめた。

記入者：牧、山口

令和3年7月29日	A4	14:45	東大阪市立長栄中学校	17	10	11	14		52
東大阪アリーナ			東大阪市立長瀬中学校	15	6	10	14		45

両チーム、ハーフコートマンツーマンでスタート。青⑥がスティールから先制ゴールを挙げるが、すかさず白⑦がドライブで返す。さらに白④の連続3pでリードを広げる。白は⑤⑦の1on1や2メンピックで攻撃を組み立て得点を重ねるのに対し、青は④の3pやリバウンドからのボールプッシュで追い上げ17-15で1Q終了。2Qに入り、白⑦がミドルシュートやドライブで3連続ゴールし流れをつかむ。青はタイムアウトで立て直しを図りDFで粘りを見せて得点を許さない。その間に青④が得点を重ねて追いかける展開。残り3分で白⑤が負傷退場するが、両チームともDFを頑張り27-21で2Q終了。3Q白⑤がベンチスタートとなるが⑦のドライブでリードを広げる。青は④が奮闘しミドルシュートやリングアタックで得点をつないでいく。白は⑥の3pや交代で出場した⑩がシュートを決め流れを渡さない。38-31で3Q終了4Q青④の連続ゴールと⑥のミドルシュートで点差を縮め、タイムアウト後に④の3pと速攻でついに同点に追いつく。しかし、白④の3pで再びリードを奪うと青の④をチームで守り切り52-45で勝利し優勝で近畿大会出場を決めた。

記入者：福嶋、古田

令和3年7月29日	B4	14:45	東大阪市立盾津中学校	10	21	16	19		66
東大阪アリーナ			大阪市立中野中学校	15	11	15	22		63

白盾津⑤⑥⑦⑧⑨青中野④⑤⑥⑦⑧中野ボールでスタート、青⑦リバウンドシュート白④の3pで始まり、その後青⑦の連続得点で点を取り合う。白7-10青となったところから約3分互いにリングに嫌われ我慢の時間が続く、1Q残り20秒青6本目の3pがようやく決まり10-15で1Q終了。2Q立ち上がり白⑤のポストプレイを皮切りに白⑨の3p白⑤のリバウンドシュートで一気に逆転となった。しかし、中野も粘りのDFから速攻で得点を重ね、流れを簡単にはつかませない。青⑤が3pを決めたところで白タイムアウト。白はそこからインサイド中心に9点を積み白31-26青で前半終了。後半ドライブ、ブレイク、3pと互いにここまでで最も取り合う4分間となった。その後も白は⑤⑥を中心にペイントエリアで高確率でシュートを決めて行く。青も⑦のドライブが止まらず連続得点。白47-46で終了。4Q白のペースで進むかと思われたが、青は3pを含む⑤⑥⑦の得点で、55-50でメディカルタイムアウトを迎える。その後⑦-⑤の連続3pで一気に同点に。残り2分を切り白60-58青の時、青この日最初のタイムアウト。互いに得点を重ね、66-63。残り4秒で青ボールとなり、青の3pはリングにはじかれて試合終了。盾津中学校が近畿大会出場を決めた。

記入者：湯井、伊津

女子決勝リーグ戦評①

令和3年7月28日	A①	10:00	大阪薫英女学院中学校	18	11	16	15		60
四条畷サンアリーナ			大阪市立大領中学校	8	10	13	8		39

決勝リーグ1日目、薫英女学院⑤⑩⑪⑫⑬大阪市立大領④⑤⑥⑦⑨でスタート。

立ち上がりから両チーム激しくプレッシャーをかけていく。先にリズムをつかんだのは薫英。

スティールからの速攻で連続得点し、その後も④を中心に攻撃を組み立てる。一方の大領は⑥がスピードを活かして得点するも、後が続かない。18-8、薫英リードで1Q終了。

2Q、大領⑨⑥が鋭くリングに切れ込み、追い上げをはかる。しかし、薫英も⑩のリバウンドシュートなど、要所でシュートを沈め、点差をキープする。29-18、薫英リードのまま前半を折り返す。

後半、点差を縮めたい大領は⑥の1on1、⑦の3pで一時は6点差まで詰め寄る。一方の薫英は出だしこそDFの隙を突かれて得点を許すも、④が冷静にプレーを組み立てゲームの流れを引き戻す。45-31、薫英リードは変わらず3Q終了。4Q、薫英は激しいDFでミスを誘い、開始3分無得点に抑える。対する大領も⑪の連続得点などで食らいつくも力及ばず。60-39、薫英が勝利した。

記入者：牧、山口

令和3年7月28日	B①	10:00	樟蔭中学校	9	12	13	6		40
四条畷サンアリーナ			高石市立高南中学校	9	17	14	12		52

女子決勝リーグ1試合目は、樟蔭と高南の対戦となった。樟蔭④⑤⑥⑦⑮高南④⑤⑥⑦⑪でスタート。

樟蔭⑥の3pで先制。立ち上がりから両チームともに、なかなかOFのリズムがつかめず、DFからきっかけをつくり、攻撃へと繋げる展開となった。樟蔭は⑤のドライブ、④のジャンプシュートで得点を重ねる。一方、高南は⑤、④のアウトサイドからのシュートとフリースローで得点し、9-9で1Qを終える。2Q開始早々、高南⑥が立て続けにシュートを決め樟蔭を引き離すも、樟蔭④のアウトサイドからの得点で応戦する。しかし、高南の厳しいDFに、樟蔭はなかなか得点できない時間が続く。高南⑤のスティールから④の速攻が決まり、樟蔭はたまたまタイムアウトを取る。21-26高南リードで前半終了。3Qは高南のエンドスローを樟蔭⑮がパスカットしそのまま速攻を決める。樟蔭⑦⑤のジャンプシュートが決まり1点差に縮め、高南がタイムアウトを取る。その後、再び高南は激しいDFからボールを奪い得点を重ねる。34-40高南リードで3Qを終える。4Q、樟蔭は⑤を起点に得点するも、高南⑤⑥の力強いインサイドプレイで加点し突きはなす。終盤、樟蔭も積極的なDFで仕掛けるが、高南が着実に得点を重ね、40-52で高南が勝利した。

記入者：浅井、福田

令和3年7月29日	A①	10:00	大阪薫英女学院中学校	19	12	12	14		57
東大阪アリーナ			樟蔭中学校	4	14	6	15		39

立ち上がり薫英⑤⑩⑪⑫⑬樟蔭④⑤⑥⑦⑮両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。樟蔭は⑬の3pを皮切りに積極的なOFを展開。樟蔭も⑤を中心にペイントエリアの攻撃を試みるが、薫英の堅いDFを突き崩すことができない、一方薫英はその後もOFリバウンドを支配するなど効果的に得点を重ね1Q、19対4で終了。2Q流れを変えたい樟蔭は⑦のゴール下や⑮⑯のドライブで得点を重ねるのに対し、薫英も⑤の3pや⑮のゴール下で応戦する。2Qは互角の展開となり31対18、薫英が13点リードで終了。3Q両チームしつこいDFでなかなか得点が決まらず、お互いゆるぎない展開が続く中、薫英は⑤の3pや⑬のペネトレイトで点をとる樟蔭も⑤のドライブや⑦のゴール下で応戦する。両チーム守り合いの展開となり、24対43で点差は縮まらず3Qは終了。4Q樟蔭はオールコートマンツーマンで積極的にDFをし諦めずに足を動かす。その中で樟蔭⑮が点数を重ねていくのに対し、薫英もなんとかプレスをかいくぐり、相手に主導権を譲らない。57対39で試合終了。決勝リーグで2連勝した薫英女学院が近畿大会出場を決めた。

記入者：尾形、松林

女子決勝リーグ戦評②

令和3年7月29日	B①	10:00	大阪市立大領中学校	10	0	14	10		34
東大阪アリーナ			高石市立高南中学校	21	20	13	9		63

大領④⑤⑥⑦⑨、高南④⑤⑥⑦⑪で始まった決勝リーグ第2戦。高南のインサイドでの得点为先取点となるが、大領も⑥の3pシュートで応戦する。両者ともハーフコートマンツーマンで守る中、高南は鋭いドライブやOFリバウンドからのシュートで着実に点数を積み重ねていく。大領は速攻からフリースローを獲得するが決めることができず1Q終了間際に⑪がミドルシュートを決め高南11点リードでこのQを終える。第2Qに入り大領は高南の硬いDFに阻まれアウトサイドシュート中心でOFを組み立てていくがリングに嫌われ、なかなか突破口をつかめない。硬いDFから速攻でさらに高南リードを広げ、第2Qを終える。後半に入り、積極的なOFでフリースローによる得点を積み重ねた大領だが、高南の厚い壁を破るに至らず、64-34で勝利した高南が決勝リーグ2連勝で、2年ぶりに行われる近畿大会への切符を手に入れた。

記入者：加藤、村本

令和3年7月29日	A3	13:15	高石市立高南中学校	17	8	15	6		46
東大阪アリーナ			薫英女学院	4	4	7	12		27

高南④⑤⑥⑦⑪薫英⑤⑩⑪⑫⑬でスタート。出だし、高南⑦のドライブから⑤への合わせで先制。その後も高南は激しいDFから薫英のミスを誘い、速攻から得点を重ねていく。薫英も速いパス回しからノーマークを作るが、なかなかシュートが決まらない。1Qは高南のDFが薫英を圧倒し、17-4高南リードで終える。2Qも高南は激しいDF。スティールからの速攻が出て加点。両チームポストプレーで得点するも、守り合いが続く2Qは8-4となり前半を25-8高南リードで終了。後半、高南④⑤⑥⑦⑪薫英⑤⑩⑪⑫⑬でスタート、少しでも差をつめたい薫英は⑤の3pシュートで先制する。しかし、後半に入っても高南のDF。勢いは衰えず⑪の3pや⑤のリバウンドシュートで高南も得点を加えていく。お互いのシュートが入らない中で、高南の⑤⑥がペイントエリアを支配し、力強いリバウンドで高南が40-15とリードして3Qを終える。4Q薫英はオールコートプレスを仕掛ける。そのDFからスティールをし速攻や3pで得点するが高南も3pで得点。薫英はインサイドプレーで加点するも46-27で高南が優勝を決めた。両チーム激しいDFが印象に残る試合であった。

記入者：秋山、小野

令和3年7月29日	B3	13:15	樟蔭中学校	16	19	16	19		70
東大阪アリーナ			大阪市立大領中学校	15	6	16	14		51

樟蔭④⑤⑥⑦⑮大領④⑤⑥⑦⑨でスタート。サイズで劣る大領は試合開始直後から積極的にプレーを展開する。大領は3本連続で3pを決め序盤2-9とリードする。その後も全員がよく動き、大領ペースでゲームが進む。1Qメディカルタイムアウト後樟蔭がオールコートでDFをしプレッシャーを強めると大領がミスを連発し、一気に樟蔭ペースとなる。終盤樟蔭が16-15と逆転し、樟蔭リードで1Qを終える。2Qのスタートも1Qに引き続きオールコートでDFをしプレッシャーを強めると再び大領がミスを連発し樟蔭が2Q前半を5点で折り返す。2Q後半がスタートしてからも、樟蔭のドライブからの合わせのプレーやリバウンドシュートなどがあり、得点差が14点に広がり前半を終える。3Q大領が逆サイドへのスキップパスからドライブを行うなどコートを広く使いOFをし始める。徐々に大領もペースをつかみ始めるが、サイズで上回る樟蔭はリバウンドやポストプレーで大領にペースを渡さない。3Q互いにペースがあがり点のとりあいになるが点差は縮まらず。4Q序盤、大領が攻め続けるも点差は縮まらず、樟蔭のDFのプレスからスティールが2本連続で続き得点が20点差に広がり大領のタイムアウト、しかし流れは変わらず樟蔭が70-51で勝利した。

記入者：牧、山本